

会長挨拶

「平成二十七年新春」

浦和稲門会々長 辻村大司



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

傘寿を迎え私の人生を振り返って、残ったのは「三つのライフ」です。早稲田、ラグビー、ロータリーです。この三つは共通項があります。「フェアプレー」と「チームプレー」。ラグビーの自己犠牲の精神やインターナショナルの視点です。昨年秋、稲門会有志の関西旅行の折、京都の上京区「京都御所」の北の古寺見学のため地下鉄を下車すると同志社大学と同志社女子大学のキャンパスが広がっていました。

「良心の全身に充満したる丈夫の起り来らん事を」の石碑が見えました。創立者 新島 襄の遺した石碑でした。このグランドキャンパスは、早稲田と全国制覇日本一を争った同志社ラグビーのグランドでした。

アジアのリーディングユニバーシティを目指している早稲田大学「野球」「ラグビー」「箱根駅伝」の三大大学スポーツの王者の復活を会員の皆様と共にバックアップしたいと思います。

稲門会活動を通じて仲間との「交流」や「活動」に積極的に参加していただくことにより会員の皆様の生涯がより充実していくことに繋がっていくと信じます。

専門部会「ゴルフ」「旅行」「麻雀」等部会長を中心に活動しております。ご参加をお待ちしております。

浦和稲門会会報

No.13

平成27年4月

発行人

浦和稲門会

事務局 小滝敏郎

TEL (825) 4095

〒330-0063

さいたま市浦和区

高砂1-2-1-107

浦和稲門会 総会のご案内



平成27年5月30日(土) 会場 浦和ロイヤルパインズホテルに於いて
受付開始 16:30 開式・17:00 会員の皆様の参加お待ちしております。

* 講演 白坂 亜紀様 23区支部中央稲門会副会長
銀座稲葉オーナーママ

テーマ 『銀座に学ぶ人間力』

プロフィール

大分県竹田市生まれ

1985年 早稲田大学第一文学部入学 日本文学専修

1987年～ 日本橋の老舗クラブにて勤務。女子大生ママとなる。

1996年 銀座五丁目、七丁目にクラブ2店舗を開店。故郷の川の名前から「稲葉」と名づける。

20代で銀座クラブ2店舗開店ということで、写真誌「フォーカス」「ダカーポ」、フジテレビ「銀座女絵巻」等々で紹介される。

現在 上記クラブ2店舗と日本料理「穂の花」「バー66」の計4店舗を経営している他、多方面で活躍中
最近の講演「銀座のママが語る男の品格」「銀座の街づくりと男女共同参画」等

ホームページのご案内

<http://www.waseda-urawa.org/>

年会費振込みのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。

さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、会の運営に当たらせていただいております。

つきましては27年度 年会費お忘れの方は右記にお振込下さいませ、お願い致します。

記

年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稲門会

お問い合わせ 浦和稲門会事務局 小滝 迄

TEL 048-825-4095

FAX 048-825-4096

平成26年度事業報告

平成26年

- 4月19日(土) 第38回 麻雀部会定例会
- 4月19日(土) 校友会埼玉県支部役員幹事会
(川口リリア14F)
- 4月27日(日)～29日(火) 旅行部会春季旅行会
(弘前・八幡平・角館)
- 5月24日(土) 浦和稲門会定期総会
(浦和パインズホテル)
- 6月7日(土) 第1回 役員幹事会(きむら)
- 6月12日(木) 第49回 ゴルフ部会定例会
(ゴールド栃木)
- 6月14日(土) 第39回 麻雀部会定例会
- 7月25日(金)～26日(土) ゴルフ部会有志懇親
コンペ(初穂CC)
- 8月23日(土) 第40回 麻雀部会定例会
- 9月7日(日) 第50回 ゴルフ部会定例会
(レイクランドCC)
- 9月17日(水) 6大学ゴルフ幹事会(大根CC)
- 9月20日(土) 校友会埼玉県支部役員幹事会
(川口リリア14F)
- 9月27日(土) 秋季代議員会(大隈講堂)

- 10月18日(土) 第41回 麻雀部会定例会
- 10月18日(土) 第2回 役員幹事会(割烹千代田)
- 10月19日(日) 稲門祭
- 10月31日(金) 6大学ゴルフ大会準備委員会(万店)
- 11月12日(水) 6大学ゴルフ大会(大根CC) 幹事校
- 11月21日(金)～23日(日) 旅行部会秋季旅行会
(滋賀・京都・奈良)
- 12月4日(木) 第51回 ゴルフ部会定例会(大宮GC)
ゴルフ部会忘年会(割烹千代田)
- 12月13日(土) 校友会埼玉県支部大会(大宮清水園)
- 12月20日(土) 第42回 麻雀部会定例会

平成27年

- 1月24日(土) 浦和稲門会新年懇親会
(浦和パインズホテル)
- 2月7日(土) 第3回 役員幹事会(小梅総本店)
- 2月21日(土) 第43回 麻雀部会定例会
- 2月28日(土) 春季代議員会(大隈講堂)
- 3月25日(水) 第52回 ゴルフ部会定例会
(森林公園GC)
- 3月28日(土) 第4回 役員幹事会(ラウンジリノ)

会員報告

“脳の出力性能は、56歳で人生最大になる”

去る2月9日、日本工業倶楽部で開催された三井住友銀行日本橋法人営業部の“お客様親睦会”に招かれ、第一部の講演会で感性アナリストであり、随筆家でもある黒川伊保子さんの講演を聞く機会を得た。



和田 浩一氏

私は感性アナリストなる職業があることも、黒川伊保子さんという随筆家で、テレビに講演会に引っ張りだこのマルチタレントの存在すら知らなかった。彼女は1983年奈良女子大学理学部物理学科卒の人工知能(AI)のエンジニアを経て、脳科学の見地から“脳の気分”を読み解く感性アナリストとして、今や感性研究の第一人者とのこと。

結構美人であるし、話ぶりも明るくユーモアもあり、歯切れのいい講話に私は聞き惚れたが、何よりも話の内容が面白かった。その一部をご披露します。

“女性は、なぜ突然キレて、関係のない過去のことまで蒸し返すのか？”

- *女性脳は、脳の一次処理領域に、何十年分もの関連記憶を一気に展開できて、過去のすべてを一瞬に思い出す。
- *例えば、子供が熱を出したら、過去の関連記憶を総動員して、今何をしたらいいかを導出する。
- *過去の体験記憶が、情動(その時の心の動き)をキーにして芋づる式に繋がれてしまわれているためである。

“男はなぜ、察してくれず、揚句の果て<言ってくればやったのに!>

なんて無神経なことを言うのだろう？”

- *女性脳は察してなんぼ、男性脳は察する機能がついていない。
- *<言ってくればやったのに>は、察することを放棄した言葉、火に油を注ぐようなもので、言ってはならない。
- *むしろ、<気が付いてあげられなくてごめん>と素直に謝った方が女性たちの好感度は断然高い、ピンチをチャンスに変える言葉である。

“女性脳は、共感してくれた相手に愛着がわく”

- *共感が知的行為の核になっているので、共感して貰わないとストレスが溜まる。
- *感じたことが即言葉になる女性脳は、その言葉を口から出さないと神経系のストレスが溜まる。
- *取りとめないことを一定量しゃべり、共感して貰う事に意味がある。
- *女性を殺すのに刃物はいらぬ、共感の言葉を吐けばよい。

“脳は、30歳を過ぎても進化する”

- * 人生最初の28年間は、脳は著しい入力装置である、がむしゃらに世の中を知ろうとする、単純記憶力はピークに達する。
- * 次の28年間は、脳は回路の優先順位を付けていく、失敗に使われた回路には信号が行き難くなる、成功に使われた回路には信号が行き易くなる。
- * そして56歳で脳の出力性能は最大になる、脳の特長から言えば、知力のピークは意外に遅くやってくる、人生急ぐことはない。
- * 40歳前後から脳は物忘れが始まる、これは老化ではなく、進化である。単純記憶力の為に使っていた機能を、連想記憶力にシフトする為、生きて行く為に必要とされないデータを放出する為である。タレントとか女優の名前が出て来ないのはその典型である。
- * 60歳の脳は成熟脳に達する。野に咲く花にも、赤ん坊にも、人生の真髄を教わるような達観の域に入る。人生はますます面白くなる。

“脳の特別数は7”

- * 7は脳がとっさに短期記憶できる情報属性の平均の最大値
- * 情報数が7つ揃うと、脳が“一揃いである”と感じる。
- * 時間幅のある情報が7つ揃うと、脳は“一巡した”と感じる。
- * 7年目で離婚を決心したり、転職を決心することが多い。
- * 流行のトレンドも7年ですっかり変わる。
- * 但し7年では真逆の感性にはならない、過去のデータを分析すると $7 \times 4 = 28$ 年で真逆の感性になる。車のデザインがいい例である、直線的で四角張ったデザインが28年後には真逆の丸く流線形になっている、ファッションも然りである。
- * そして更に28年後の56年で大衆の感性は一巡する。例えば、東京オリンピックである、1964年に開催され、再び56年後の2020年に東京オリンピックが開催される。
- * この感性現象を捉えて、未来予測に使い、商品開発の発想に使い、マーケティングに使える。

最後に、黒川伊保子さんは、講演を下記言葉で締めくくった：
感性の波は繰り返す、この国はもう一度蘇る、私達は、面白い時代の入り口に立っているかもしれない。

昭和39年 第一政経学部卒

大阪から浦和へ

今年の新年会で浦和稲門会に入会させて頂きました。大阪府立北野高校卒、教育学部社会学科昭和39年卒です。

昭和35年騒然とした学園紛争の最中に入学し、同時に東伏見の早大四寮にあったハンドボール部の合宿所に入寮しました(昔俳優の佐田啓二さんも四寮におられました)。

当時部は東伏見ではなく、早大学院のグラウンドで練習しておりました。

その年の6月に欧州の強豪ルーマニアが来日し、第一戦を全早稲田大学が戦うことになり一年生ながら選抜されて出場致しました。

この試合はNHKがTV放映しましたが、ハンドボールでは史上最初のことでした。

浦和元町には(昭和62年-平成2年)、新白岡に(平成2年-12年)在住し、その後大阪の家に戻りましたが、故あって平成20年再び浦和に住むことになりました。

ゴルフ・麻雀部会には参加したいと思っております。

昭和39年 教育学部卒

「心の故郷」

2年ほど前に卒業後初めて早稲田祭に行きました。校舎がみんなピカピカに新しくなっていたのは良いのですが、なんか違和感があるというか、落ち着かないというか。懐かしい気持ちもなかなか湧かなくて、戸惑ってしまいました。自分が学んだ法学部の4号館にも入りましたが、どうも…。昔のあの張り紙だらけで古びた猥雑な？学び舎がやたらと懐かしくなっていました。

私は入学当時は考古学者を目指すちょっと変わった青年でした。なので本当は文学部志望でした。法学部に入ったので、法律の勉強やっているうちに法律家もいいな、と思い悩み、結局中途半端な学生生活になってしまったのが悔いです。

40才の時人生の一つの節目と思い、独立しました。苦しい困難な時も沢山ありましたが、そんな時校歌のCDを買ってきて、聞きながら心を鼓舞したこともあります。

私にとって早稲田の校歌は「心の故郷」以上のもの、「魂の拠り所」であり「力の源」でもあります。

これからの人生のかなりの部分をもう一度早稲田色に染めたいと思っております。

昭和54年 法学部卒



荒木 光明氏



青木 俊哉氏

浦和に根を下ろす



古澤 和子氏

父が転勤族だったため、小学校から高校まで入学した学校と卒業した学校が全部違う。京都で生まれ佐世保、横浜、倉敷・・・各地を移り住んだ。いつも、よそ者という意識があり、高校まで楽しかった思い出がとても少ない。そんな私に父が「早稲田のようなマンモス大学に行けば、全国から学生が集まるから、きっと楽しいぞ。」と薦めてくれた。入学してみるとまさに各地から個性的な人たちが集まり、あの4年間のはびのびと過ごしたかけがえのない時間となった。稲門会とは、早稲田大学で学び、地元に戻ったOB、OGの方々が、交流を深める場であり、私には一生縁のないものと思っていた。ところが、私も埼玉県民となって28年。子どもを育て、税理士事務所を開業し、すっかりこの地になじんでいる。成人した二人の子どもには、私が望んでもできなかった「地元の友だち」がたくさんいる。そうか、私もついに浦和が地元と言えるようになったのだ。今年、浦和稲門会の新年会に初めて参加してとても居心地の良さを感じてそう確信した。これから皆さまと親交を深めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

昭和56年 第一文学部心理学専攻卒

卒業時の記憶



広瀬 隆氏

早稲田大学は、平成7年3月に卒業しました。卒業した年の1月には、あの阪神淡路大震災があり、大学の部室にあったブラウン管テレビから流れる、炎上する神戸市内の街並みの映像を見て、びっくりした記憶があります。そして、あの地下鉄の事件。大学の卒業式の5日前であり、事件の翌日に、事件のあった地下鉄に乗る予定でした。あれから20年。早くもあり、また、遅くもあったような気がします。こうしてまたご縁があり、大学の同窓の方々と巡り合えるのも、不思議な感じがします。現在、浦和で司法書士事務所を経営しながら、生活困窮者や震災支援者の支援活動などを行っています。稲門会の活動以外でも、どこかでみなさまにお会いできるかもしれません。楽しみにしています。

平成7年 法学部卒



伊藤 隆雄氏

私は平成8年に商学部を卒業しました。在学中は、テニスサークルの飲み会やアルバイトを頑張っていました。肝心な学業の方は、単位を取れる程度にしか勉強しませんでした。卒業後に経理関係の職務に就いたことから、会計や税務の資格試験のために勉強するようになりました。早稲田には著名な先生もおられたことを考えると、今となってはもったいないことをしたと悔やんでおります。現在は、卒業後に入社したメーカーに勤務しておりますが、入社早々、早稲田OBの方が声を掛けて下さり、社会に出て右も左も分からない私の面倒を見て下さいました。また、その方の紹介で勤務先の稲門会にも入会し、入社当初は役員の方をはじめとする大先輩の有益な話を聞きもらすまいと必死でした。時は流れ、気が付けば私も中間管理職になり、当時の大先輩方に久しぶりにお会いすると、今度は逆に「会社の様子はどうか?」と聞かれるようになっていました。

平成8年 商学部卒



松村 譲氏

私は、現在、さいたま市内で弁護士として活動しております。大学時代は、法学部に所属しておりました。早稲田の思い出は、学生時代ならではの思い出ばかりです。司法試験受験希望者が大半を占めるゼミナールに所属しておりましたので、学生同士で法律の議論を熱く交わっていたひと時もあれば、仲間と野球の早慶戦に出陣し、声を枯らすまで応援した後、早慶戦での興奮のまま、居酒屋で朝まで勝利の美酒に酔いしれたりもしました。早稲田での4年間にわたる様々な「学び」があってこそ現在の自分がいるのだと思っております。本年より浦和稲門会にお邪魔させて頂くことになりましたが、何分若輩者ですので、諸先輩方からご指導を頂戴できればと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成17年 法学部卒

早稲田を原点に



関口 彩海氏

私は、現在 SMBC 日興証券浦和支店に勤務しております。勉強の連続で、たくさんの方のことを考えさせられる出来事に出会う毎日を過ごしております。在学中は大学院で政治学研究科に所属し、理論史を学んでおりました。毎週ゼミの時間が憂鬱になることが多かったのですが、今振り返りますと、厳しさの中にあたたかみのある言葉をかけてくださった教授とのやりとりが大切な思い出です。昨年の3月に早稲田を卒業し、思い入れのある早稲田と離れてしまうのは淋しいと感じていた際に、小滝様から稲門会をご紹介いただきました。稲門会でお会いした先輩方からお聞きする思い出話から、早稲田の伝統の素晴らしさを改めて実感させていただいております。早稲田を原点に多方面でご活躍されている先輩方のように、私も浦和で精一杯邁進してまいりたいと思います。私自身まだまだ未熟者で、学ぶべきことがたくさんあります。どうかご教授いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年 政治学研究科卒

麻雀部会

部会長 森川淳一

平成27年2月21日には、第43回大会が早稲田9名、慶応11名にて恒例の対抗麻雀大会が行われ上位3名が慶応三田会でした。2ヶ月毎、第2～第3土曜日に開催しており、4～5卓で最近では慶応さんの参加者が多めで行われております。平成26年度は、2/20・4/19・6/19・8/23・10/18計6回でした。我校は、4月に高橋雄一さんが優勝、金子努さんが準優勝、3位に山本裕二さんと他は慶応さんの勝利だったと思います。場所は、県庁前の雀荘スターです。どうぞ沢山の皆様のご参加お待ちしております。



ゴルフ部会

部会長 吉田俊夫

- ◆平成26年3月25日 皆川城カントリークラブ 18名参加
優勝・萩原弘道さん、準優勝・相沢庄平さんでした。関根会員ご夫妻も久しぶりで参加され、横江一美さん、相沢俊子さんと女性もプレーを楽しみました。
- ◆平成26年6月12日 ゴールド佐野カントリークラブ 15名参加
新入会員の太田憲吾さんが参加されました。優勝は遠藤亘良さんが久しぶりの優勝で往年の腕前を大いに発揮されました。準優勝は、巽正典さん。
- ◆平成26年9月7日 レイクランドカントリークラブ 日曜日の開催でしたが参加者は少なく残念でした。優勝・横江一美さん、準優勝・宮入一芳さんでした。
- ◆平成26年12月4日 大宮ゴルフコース 17名参加
優勝・巽正典さん、準優勝・細田拓さんでした。

今年度の東京六大学の大会は11月12日、大利根カントリークラブに於いて行われました。参加は106名と最多人数となり、我校が幹事校でした。個人戦では、法政の吉岡幸夫さんがエイジシューターにて優勝し、当会の佐藤成宏さんが準優勝されました。尚、団体戦は慶応が優勝で我校早稲田は準優勝でした。当会の団体戦の貢献メンバーは、佐藤成宏・木村勇夫・大熊繁紀・佐藤斉・山本裕二の5名の方々。賞を獲得し吉田部会長はご満悦でした。



- ◆平成27年度の予定
- 第51回 3月25日 森林公園ゴルフ倶楽部
- 第52回 6月2日 東武藤ヶ丘カントリー倶楽部
- 親善コンペ 7月26～27日 白川高原カントリークラブ
- 第53回 9月13日 栃木カントリークラブ
- 東京六大学戦 11月18日 高麗川カントリークラブ (幹事校、立教)
- 第54回 12月11日 大宮ゴルフクラブ

以上の予定です。皆様お誘い合わせの上大勢のご参加を！

旅行部会

部会長 金子 努

平成20年、旅行部会は部会長を細田会員にご就任いただき発足いたしました。最初の旅行先は、草津温泉でした、参加者の中にお亡くなりになった方もおられました。まさに裸のお付き合いができましたこと、未だに思い起こされますし僥げられます。次に訪れたのは、甲府でした。身延山久遠寺では、三門までの石段に苦悶し、身体の異常に気付かされました。未だに医者通いではありますが、まさに日蓮上人に功德を施されました。3回の部会は、私の故郷秋田に大勢で赴いていただきましたが、桜の名所角館は生憎曇天にしてかつ桜の開花前ということで大変がっかりさせてしまいました。翌日の男鹿半島は、晴天の日が少ない秋田ではそれは珍しい快晴も快晴、360度のパノラマに溜飲が下がりました。そして、秋田稲門会との交流会も忘れられない思い出です。

2代目の大熊会員は、松本と北上と2度、部会を開催されました。2度とも所用があり参加できなかったこと、痛恨の極みと未だに思っています。

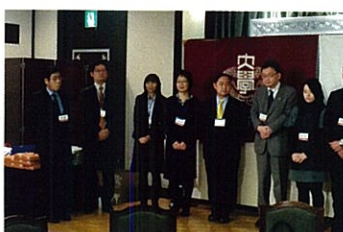
3代目の部会長に自薦?で私が任につかさせていただきました。初めに旅行先に選んだのは友人お薦めの静岡県寸又峡です。雨に多少楽しさが妨げられましたが参加者との散策(上り下りがきつい)も良い思い出です。昨今お茶好きな私は、有名な川根茶を本場で買い求めることができました。桜の開花時に合わせての観光は難しいと言われますが、今年の春季旅行を日本一の桜の名所と謳われる弘前公園と決めて敢行いたしました。4月27日に訪れた弘前城の桜は嬉しいことに満開でした。参加者は気が付かなかったとは思いますが、私の鼻はかなり高くなっていたはずで、翌日は、弘前市から十和田の奥入瀬溪流、尾去沢鉱山跡を經由して宿の八幡平の秘湯後生掛温泉。翌々日は、またまた秘湯の乳頭温泉で入浴経験、田沢湖周遊船で遊び、リベンジの角館へ。武家屋敷の枝垂桜、桧内川べりの並木の桜が満開でした、リベンジ大成功。秋季旅行は、京都・奈良に出かけました。定期観光バスを利用して、三井寺、法隆寺、薬師寺、唐招提寺を訪ねました。修学旅行を彷彿させる旅でした。

今年に入り、春の旅行先は開通なった北陸新幹線を利用して、白川郷、能登、金沢市内の観光に出かけます、会員と大いに楽しんで来たいと思っています。

というわけで、部会長として恥ずかしいほどの自己満足と参加者の大いなる心優しさで部会は運営されております。どうぞご都合がお付きになります部会開催の案内にお目を停めご参加くださいますようお願い申し上げます。



平成27年 浦和稲門会 新年会



日本で初めての試み！ 校友を対象とした健康づくり研究に参加しませんか

スポーツ科学学術院による健康づくりの研究「WASEDA'S Health Study」では、調査にご協力いただける方を募集しています。40歳以上の校友1万5千人を対象に、ライフスタイル（運動、食事、ストレスなど）の調査を20年間にわたり行い、研究成果を国民の疾病予防や健康づくりの施策立案や指針作成に役立てようというものです。本研究を校友会は全面的に支援しています。

インターネットで手軽に調査に参加していただくコースから、無料で人間ドッグと同等の健康診断を受けられるコース、さらに高度な運動・身体機能検査などを受けることができるコースなどがあります。いまや健康づくりは、社会全体で取り組むべき課題となっています。社会貢献につながる研究の調査に、ぜひ参加しませんか。現在、参加者募集中で、まだ十分にご参加いただくことができます。ぜひとも皆さまのご協力をお待ちしています。

参加までの流れ
参加はPCからとなります。

PCから下記のURLにアクセス。画面内の参加ボタンをクリック。応募フォームに従って情報を入力。

URLはこちら <https://wasedas-health-study.jp>

2015 稲門祭・ホームカミングデーのご案内



毎秋、開催されている校友の校友による校友のための祭典「稲門祭」と、早稲田大学主催の「ホームカミングデー」。2015年は10月18日（日）に開催いたします。今年の稲門祭テーマ「The Next Generation!! ステップ・バイ・ステップ、早稲田の未来へ。」には、次世代につながってゆく、母校の歩みを少しでも応援したいという思いが込められています。

イベント開催や模擬店出店などの募集を3月16日（月）より開始します。詳しくはホームページをご覧ください。

【稲門祭 ホームページ】 <http://www.wasedaalumni.jp/tomonsai/>

＜早稲田スポーツ情報＞

- 【12月】●バスケットボール部/第66回全日本大学選手権 優勝、大会最優秀選手賞 桂葵（社会学4）、優秀選手賞 根岸夢（スポ科3）、アシスト王 本橋菜子（スポ科3）・田村未来（スポ科2）●剣道部/第15回関東女子学生新人戦 初優勝
- 卓球部/全日本学生選抜選手権 初優勝 大島祐哉（スポ科3）●水泳部/第12回世界短水路選手権 男子400メートル個人メドレー 優勝 瀬戸大也（スポ科2）●卓球部/第6回国際クラス別肢体不自由者選手権 初優勝 岩淵幸洋（教育2）●庭球部/第51回全日本学生室内選手権 ダブルス 男子優勝 今井慎太郎（スポ科3）・河野優平（スポ科1）、女子優勝 林恵里奈（スポ科2）・細沼千紗（スポ科1）、シングルス 男子優勝 今井慎太郎 ●ラクロス部/新人戦ウインターステージ 男子部（早大a）優勝、最優秀選手賞 秋山拓哉（スポ科1）、女子部 優勝、最優秀選手賞 澤井柚希（国際教養1）
- 【1月】●スケート部/第87回日本学生氷上競技選手権 男子1000メートル 優勝 小田卓朗（スポ科4）

～WASEDA サポーターズ倶楽部のご案内～

「WASEDAサポーターズ倶楽部」は、「教育環境整備」「グローバルリーダー育成」「スポーツ支援」「文化振興」および「奨学金」などをはじめとした早稲田大学の各種事業を財政的に支えていただく寄付会員制度です。皆さまからのご賛同をいただき、2009年4月からの累計寄付金額は44億円にのぼりました。寄付金の一部をもとに2013年3月「WSC(WASEDAサポーターズ倶楽部)メンバーズ基金」を創設し、その果実は、グローバル人材育成奨学金、平山郁夫記念ボランティアセンター公認団体への活動支援、寄付講座設置、中野国際コミュニティプラザの支援、早稲田アスリートプログラムへの支援など、学生支援や教育研究活動に活用させていただいております。

会員の皆さまには「早稲田講義録」やオリジナルグッズの送付、中央図書館利用などのサービスを提供します。高額寄付を賜った場合、本学名誉称号を贈呈し、同倶楽部特別会員に就いていただいております。なお、ご遺贈による寄付も承っております。

【お問い合わせ】 WASEDAサポーターズ倶楽部 事務局 電話 03-3202-8049

各種ランキング

●2014 司法試験合格者 法科大学院別

早稲田大学法科大学院の合格者数が全国1位となりました。とくに未修者受験者の合格者数は73人で昨年に引き続き1位です。

	法科大学院名	合格者	受験者
1	早稲田大学法科大学院	172	489
2	中央大学法科大学院	164	475
3	予備試験合格者	163	244
4	東京大学法科大学院	158	304
5	慶應義塾大学法科大学院	150	336

●2014 国家公務員試験 総合職合格者

2013年度と比べると165人増の合計1,918人が合格しました。大学出身別の合格者数順では、早稲田大学は前年度の105人に比べ35人増で、2013年度と変わらず3位となりました。

	大学名	合格者
1	東京大学	438
2	京都大学	160
3	早稲田大学	140
4	慶應義塾大学	92
5	東北大学	78

2015.2

<不動産管理>

有限会社 ツダックス
代表取締役 辻村大司
さいたま市浦和区岸町5-8-3
TEL048-822-2104

浦和稲門会
ゴルフ部会
部会長 吉田俊夫
入会お待ちしております

パッキング・シム製造
各種プレス加工

富士パッキング株式会社
埼玉県さいたま市浦和区木崎1-2-28
TEL.048-886-2221(代)
FAX.048-886-8443

この広告は決して「付き合い広告」ではありません。

早稲田OB割

大マジメです!?
私まで連絡してください。
浦和稲門会 秋本高幸



0120-142-194
浦和中央自動車教習所

(有)百丈梱包運輸
代表取締役 金子 努
さいたま市南区白幡5-12-7
TEL.048-866-6200 FAX.048-862-4941
S.49年 第一政治経済学部卒

Institute of Tech.&Ecom
株式会社 アイテック計画
代表取締役社長 曾根伸穂
再開発プランナー
技術士(区画整理士)
一級建築士
事務所 〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目28番地 YKB エンサインビル9F
TEL:(03)3358-6061(代) FAX(03)3353-4943
E-mail:sone.nobu@itec-plan.co.jp
自宅 〒336-0962 埼玉県さいたま市緑区下野田950-2-1404
TEL:(携帯)090-3235-3308

SunTrade

代表取締役

綱川寿夫

株式会社 サントレード

〒336-0026 さいたま市南区辻4-9-15

TEL048-861-4664 FAX048-866-3527 E-mail:tsuna-h@suntrade.jp

総合建設業
株式会社 田中工務店
ISO 9001・14001 認証 JQA
〒336-0026
さいたま市浦和区常盤10-16-23 TEL 048-831-5725
http://www.tanaka-koumuten.co.jp
代表取締役社長 田中一成

三洋電設株式会社

取締役社長 早稲田一也

さいたま市南区鹿手袋3-22-21
TEL 048-864-9204(代)

レンガの家造り

株式会社 ロッキー住宅

代表取締役 大熊繁紀

さいたま市浦和区常盤2-10-1

有限会社 佐藤コンサルタント
<不動産の仲介>
代表取締役 佐藤 齊
〒330-0053
埼玉県さいたま市浦和区前地3-10-15
TEL.048-882-4071 FAX.048-882-4095
E-mail:hsatogee@tbz.t-com.ne.jp
携帯:090-1405-3722

キープハウスの
タツミ建設工業(株)

〒336-0038 さいたま市南区鹿手袋3-4-11
TEL 048-710-5020
FAX 048-710-5021

税理士法人 小滝会計

税理士 小滝敏郎
行政書士

事務所 〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1丁目2番1号
エイベックスタワー浦和107
TEL.048(825)4095 FAX.048(825)4096

司法書士法人 前田合同事務所
不動産登記・商業登記・成年後見業務
代表社員 宮坂秀樹
司法書士
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目3番1号
TH1ビル3F
TEL 03-5474-3261 FAX 03-5474-3262

株式会社 プロワーク

代表取締役 野並伸行

〒336-0033 さいたま市南区曲本3-7-29
TEL.(048)845-7800
FAX.(048)845-7810
E-mail:nonami@prowork.co.jp

建築の設計・監理、リフォーム、店舗設計、耐震診断・補強設計

いとま
居アーキテクト一級建築士事務所

代表 上野康子



ITOMA architects

浦和区本太1-24-2-105

TEL 050-1070-0170

ueno@itoma-arch.com

http://www.itoma-arch.com

さいたま司法書士事務所

代表 広瀬 隆
司法書士

事務所 〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂一丁目10番6号
ベルセ高砂404 (JR浦和駅西口徒歩1分)
TEL 048-815-6978 FAX 048-815-6977
E-mail:saitama@etude.ocn.ne.jp

はるか法律事務所

弁護士 松村 譲

さいたま市大宮区吉敷町1-6-2
マレーS・Tビル403
TEL 048-648-1111
FAX 048-648-0005

日本ビュート株式会社

代表取締役 青木俊哉

〒336-0017
埼玉県さいたま市南区南浦和2-41-4
つばさビル6F
TEL 048-887-1366 FAX 048-887-1365

株式会社 ユニテックギア

相談役 遠藤 巨良

〒363-0002
埼玉県桶川市赤堀2丁目7番地
TEL 048-728-8411
FAX 048-728-7433

浦和稲門会

ゴルフ部会

委員 若井誠治